

鳥取砂丘探検マップ

杭の頭についている番地と位置図をもとに、砂丘を散策してください。
新しい砂丘が発見できるかも……



鳥取砂丘の砂の移動を調査するために設けた杭(図の○印が杭の位置)

- 砂丘に出たら、写真のような杭を探して、自分の位置を確かめながら自然観察してみましょう。
- 杭と杭の間は100mです。
- ゆっくり歩いて2分かかります。
- 時間と体力に合わせてお楽しみ下さい。

鳥取大学乾燥地研究センター
☎0857-23-3411

砂簾
スダレ状の美しい模様。飛砂が、砂丘の風上側の穏やかな斜面を這い登り頂部に達して積み上げられていき、安定な限界を過ぎると風下側の急斜面を滑り落ちてできる。

風紋
一面がさざ波のような、砂丘独特の風景。砂が乾き、風が吹いた早朝などに見られる。

植物群落
コウボウムギ
ネコノシタ
ハマゴウ
ハマヒルガオ

植物群落点在
コウボウムギ
ケカモノハシ
ハマゴウ
オニシバ

植物群落点在
ケカモノハシ
コウボウムギ
ハマニガナ
ウンラン

利用に関するお願い 以下のルールを守って、雄大な景観をお楽しみください。

「自然公園法」で許可が必要又は禁止されている主な行為	「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」で禁止されている主な行為
<ul style="list-style-type: none"> 砂丘内の砂の持ち帰り テントなどの仮設工作物の設置 看板やのぼりなどの広告物の掲示や設置 車両等の乗り入れ 拡声器等による著しい騒音の発生 	<ul style="list-style-type: none"> 砂上への落書き ゴルフの打ち放しや花火の発射等 ゴミ(タバコの吸い殻等)のポイ捨て 動物のふんの投棄

違反者は「自然公園法」の規定により6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金
「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」の規定により5万円以下の過料を科せられることがあります。

サンドボード滑走可能場所
サンドボードはここで滑るようにしましょう。

美しい風紋ができやすいところ
(風の通りが良い)

鳥取砂丘パークサービスセンター
☎0857-23-7652
鳥取県砂丘事務所
☎0857-22-0582

鳥取砂丘ジオパークセンター
「足洗い場」



らっきょうの花
(10月下旬頃)



追後スリバチ

砂の美術館

鳥取砂丘情報館
サンドバルとっとり
レンタサイクル
☎0857-20-2231



多鯉ヶ池



鳥取砂丘の成り立ち

- 1 中国山地の岩石が風化して砂となり大雨によって川に出ます。
- 2 千代川によって大量の砂が日本海に流れ出ます。
- 3 一度沖合に流された砂は、海の流によって陸地に近づき浅海底に堆積します。
- 4 波浪により海岸に砂が打ち上げられます。
- 5 主に北西の季節風により吹き飛ばされて陸地に運ばれ、内陸側に積もって海岸砂丘となります。



鳥取砂丘の地質



鳥取砂丘では、砂の間に火山灰層を観察することができます。写真は砂丘商店街の砂丘ユニオンの駐車場で見られる砂丘断面の露頭です。砂の間に火山灰層が挟まれている様子が観察できます。火山灰層の上に堆積している新しい砂丘が新砂丘と呼ばれています。火山灰層の下に堆積している砂丘は、古砂丘と呼ばれています。



大山倉吉軽石層の露出

砂丘内には火山灰層が露出している所があります。風通しがいい所の砂が飛ばされ、火山灰層が顔を出しています。火山灰層の中には、約5万5千年前に大山から噴出した大山倉吉軽石層が見られます。これらの地層は、鳥取砂丘の形成史を物語る貴重な財産です。

鳥取砂丘の草原化と除草の取り組み

1970年（昭和45年）ごろから砂丘に本来生えていない外来植物が目立ち始め、砂の移動が減少して美しい風紋や砂簾が見られにくくなったり、砂丘本来の美しい景観を損ねたりするなど、砂丘の草原化が深刻な問題になりました。鳥取県・鳥取市では、平成6年から本格的に除草活動を開始し継続しています。除草作業の進展に伴い、今では砂丘本来の姿を取り戻しつつあります。平成16年からはボランティアによる除草も始まり、県民との協働で砂丘を守る取り組みが進んでいます。平成23年度は5,900人もボランティアの方が参加しています。



ボランティア除草の様子

アダプトプログラム

ボランティア除草の取り組みをより市民レベルの活動に定着させ、持続的なものとするため、平成18年からアダプトプログラム（一定の区域を里親のように責任を持って担当する仕組み）を導入実施しています。現在では、次の11団体がこの取組に参画しています。

- アサヒコンサルタント(株)
- サイトウコンサルタント(株)
- 大山日ノ丸証券(株)
- 国立大学法人鳥取大学
- 東洋交通施設(株)
- 鳥取県
- 積水ハウス(株)鳥取支店グループ
- 日本学生フライヤー連盟関西支部
- 鳥取中央ロータリークラブ
- ももんじょプロジェクト
- 鳥取市

草原化の状況(平成3年撮影)



砂丘に暮らす動物



クモモリグモ
(クモ目クモリグモ科)
鳥根県以北の、主に日本海側の砂浜に生息する大型のクモ。体長は2cmを超える。本種を含むクモリグモ科のクモは母親が卵のうや、ふ化した子グモを保護する習性がある。



カワラハンミョウ
(コウチュウ目ハンミョウ科)
体長15mm内外。全国の河川河原や砂浜海岸に分布していたが、多くの県で絶滅または絶滅危惧になっているハンミョウ。体の色と模様は砂地に対して陰べい。



ハマベウスバカゲロウの幼虫
(アミメカゲロウ目ウスバカゲロウ科)
海側の開けた斜面にすり鉢状の巣穴をつくる。体長約1cm。日本海側の限られた海浜砂丘で見られるだけだが、鳥取砂丘には多い。



ハマスズ
(バッタ目ヒバリモドキ科)
海浜植物群落の近くでよく見かける海浜性のコオロギ。隠ぺい色で、背景に溶け込む。

砂丘に生育する植物〈砂丘植物〉



コウボウムギ(カヤツリグサ科)
4月下旬に花をつける。ムギの名は穂の形から。雌雄異株だが、まれに雌雄を一緒につけている穂も見られる。



ピロードテンツキ(カヤツリグサ科)
8月頃、茎の先に数個の小穂をかたまつてつける。茎や葉には白い絹毛が多い。



オニシバ(イネ科)
6~8月頃、花を開く。直立した茎とそこから水平に開いた硬くて細い葉が印象的である。



ハマニガナ(キク科)
真夏には少なくなるが、4~10月頃まで次々に直径2~3cmの黄色い頭花をつける。



ハマヒルガオ(ヒルガオ科)
5~6月頃、アサガオ状のピンク色の花をつける。大きな群落が一斉に咲くさまは、見応えがある。



コウボウシバ(カヤツリグサ科)
4~5月、同じ株内の上部に雄小穂、下部に雌小穂をつける。コウボウムギに比べて小型。



ハマゴウ(クマツヅラ科)
7月頃、青紫色の花をつける。直径5mmほどの黒い果実は強い香気があり、乾燥させて漢方薬として使われる。



ケカモノハシ(イネ科)
7月頃、先端にびったりと密着した2本の穂をつける。茎の節や小穂に毛が多い。



ハマボウフウ(セリ科)
6~7月頃、花を開く。カリフラワー状に小さく密な白い花を多数つける。砂丘内に点在する。



ウンラン(ゴマノハグサ科)
8~9月、枝先に黄白色の花を数個つける。多肉でへら形の実をつけた茎が斜めに立ち上がる。



ネコノシタ(キク科)
7月頃、直径2cmほどの黄色い頭花をつける。花を車輪に見立てたハマグルマの名もある。海沿いに群生する。



ハマベノギク(キク科)
9~10月頃、直径3~4cmの紫色の頭花をつける。鳥取砂丘では西側の一部に見られる。

鳥取砂丘周辺の歌碑

鳥取砂丘は文人の感性に問いかける不思議な魅力を秘めています。人知の遠く及ばぬ神秘的な大自然のイメージは、短歌・俳句・推理小説をはじめ、あらゆるジャンルの芸術家たちを惹きつけてやみません。



与謝野晶子歌碑

沙丘踏みさびしき夢に与かれる
われと覚えて涙流るる

昭和5年5月25日、与謝野晶子が夫、寛(鉄幹)とともに砂丘を訪れています。この歌は、6月に軽井沢で命を断った、友人有島武郎への鎮魂歌として詠まれました。



有島武郎歌碑

浜坂の遠き砂丘の中にして
さびしき我を見出でけるかも

大正12年、水脈社主催の自由大学講座の講師として有島武郎が来鳥し、その時に詠んだ歌です。武郎が約1ヶ月後に情死を遂げたことでもあって、砂丘を世に広めた1首として知られています。



枝野登代秋歌碑

砂丘をいくつ越えしが波音の
まぢかにきこえて海まだ見えず

現在も鳥取市で発行している短歌誌「情脈」を昭和6年創刊、主催し、短歌人口の底辺拡大に努めました。絶筆に「わがあとに続く足跡限りなく亡びず歌とその足の音」があります。



高浜虚子句碑

秋風や 浜坂砂丘
少し行く

昭和7年に俳誌「ホトギス」主宰の高浜虚子一行が砂丘で吟行会を開催し、その時に詠まれました。